

大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク 活動報告 2021

○奥村 由香
産業科学研究所 技術室 計測班
okumura@sanken.osaka-u.ac.jp

1. はじめに

大阪大学では 2019 年に部局横断型女性技術職員ネットワークを発足した。女性技術職員が働きやすい環境を実現できるように部局を越えてお互い協力できるように取り組んでおり、現在は 10 部局 19 名のメンバーが所属している。本年度に行った活動について以下報告する。

2. 活動報告

・ハンダイ理工系女子フェス 2021 イベント協力

(イベント概要) 学部学科選び、大学生活、研究、就職などについて高校生に伝えるイベント

(担当) フライヤーのデザイン、HP 作成・更新、当日の現場サポート

(協力期間) 2021 年 3 月～開催当日まで



・親子で遊ぼう 夏休みオンラインサイエンス(全国の女性技術職員と実施)

(イベント概要) 小学生 3 年生～4 年生を対象に全国の女性技術職員が講師として親子の参加者とグループごとにあってそれぞれのブレイクアウトルームに分かれ工作を実施。あらかじめ送付した黒い厚紙と分光シートを使って一緒に分光筒を作成、光の観察をしてもらいサイエンスクイズを行った。開催期間は 2 日間。参加者数は 145 名、全国の大学・高等専門学校 17 機関から 62 名の女性技術職員と協力して行った。

(実施日) 2021 年、8/3、8/17



・女技カフェ(第2回、第3回)

(イベント概要) 女性技術職員が日々感じていることなど気軽に語り合い交流を持つことを目的としたイベント、毎回テーマを決めてブレイクアウトルームに分かれ意見交換を行う。

(第 2 回) 2021 年 9 月 16 日実施、参加人数 60 名、テーマは以下のとおり

1. 育児・介護等の休暇に関わる支援について
2. コミュニケーションのコツについて
3. 男性技術職員との意見交換
4. 非常勤職員(技術補佐員)のお仕事について
5. 資格について

(第 3 回) 2022 年 3 月 29 日実施、ジョイント企画として同日にプロから学ぶ女技の勉強会を実施、専門講師をお招

きしてレジリエンス(心の回復力)について講義していただいた。グループディスカッションのテーマは以下のとおり。第2回につづき一部同じテーマで実施。参加人数 61 名(グループディスカッション 39 名)

1. 育児・介護等の休暇に関わる支援について
2. 男性技術職員との意見交換
3. 心回復力(レジリエンス)について

・第1回ネットワークセミナー

(イベント概要)教職員が学生に技術職員を知っていただくとともに、教員・行政側から技術職員に関する支援体制や期待を技術職員が知ることにより技術職員に対する支援制度や改善策を提案する場になることを目的として開催。行政官の方をお招きし特別講演を行っていただき、その後理事・副学長、教員、技術職員によるパネルディスカッションを行った。参加人数は 84 名。

(実施日) 2021 年 12 月 23 日

3. 大阪大学賞受賞

令和 3 年度大阪大学賞を受賞した。大阪大学賞とは、本学の大学運営、教育及び研究上において、特に顕著な貢献をした者に対し、その功績を讃えて表彰するものである。その中に大学運営部門で受賞した。

業績名:「部局横断型女性技術職員ネットワーク構築による技術連携を通じた大学運営支援」



表彰式の様子



盾

4. 今後の活動について

現在近畿地区の技術職員とのネットワークから全国展開へと発展している。今後全国の女性技術職員と連携してサイエンスイベントを行うことで 1 人でも多くの女子学生が理工系を志すように貢献していきたい。また学内としては、「先端研究基盤共用促進事業(コアファシリティ構築支援プログラム)」女性技術職員ネットワークとの連携もあり、コアファシリティが企画する研修等に協力し、目的の一つである技術職員の能力向上と活躍促進に貢献していきたい。